

第76期
株主通信

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

 **NFKホールディングス**
NFK Holdings Co.,Ltd.

証券コード：6494

当社の強み | Our Strengths

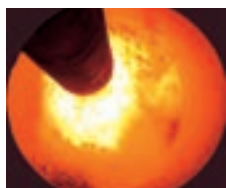
- ① 卓越した技術力
- ② カスタムメイド
- ③ 長年にわたり培った製品信用力
- ④ 優良な顧客基盤
- ⑤ ファブレスで柔軟な経営

株式会社NFKホールディングスは、最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献するとともに、株主の皆様は勿論、企業を支えるお客様や取引先、社員、地域社会等の全てのステークホルダーの繁栄を目指して事業活動を行ってまいります。

プラントエンジニアリング事業 Plant Engineering

- 産業機械関連
- 石油関連
- 環境関連

主な販売先 セメント関連企業
石油化学関連企業



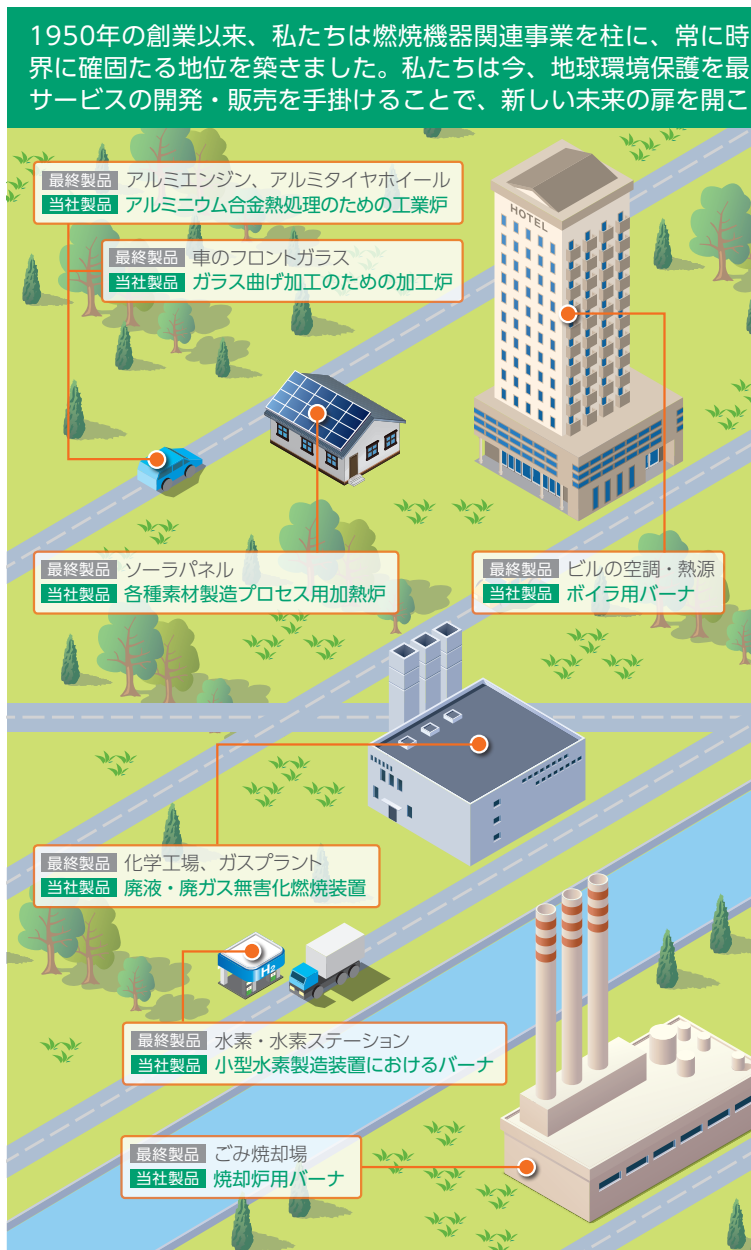
ロータリーキルン 燃焼状態



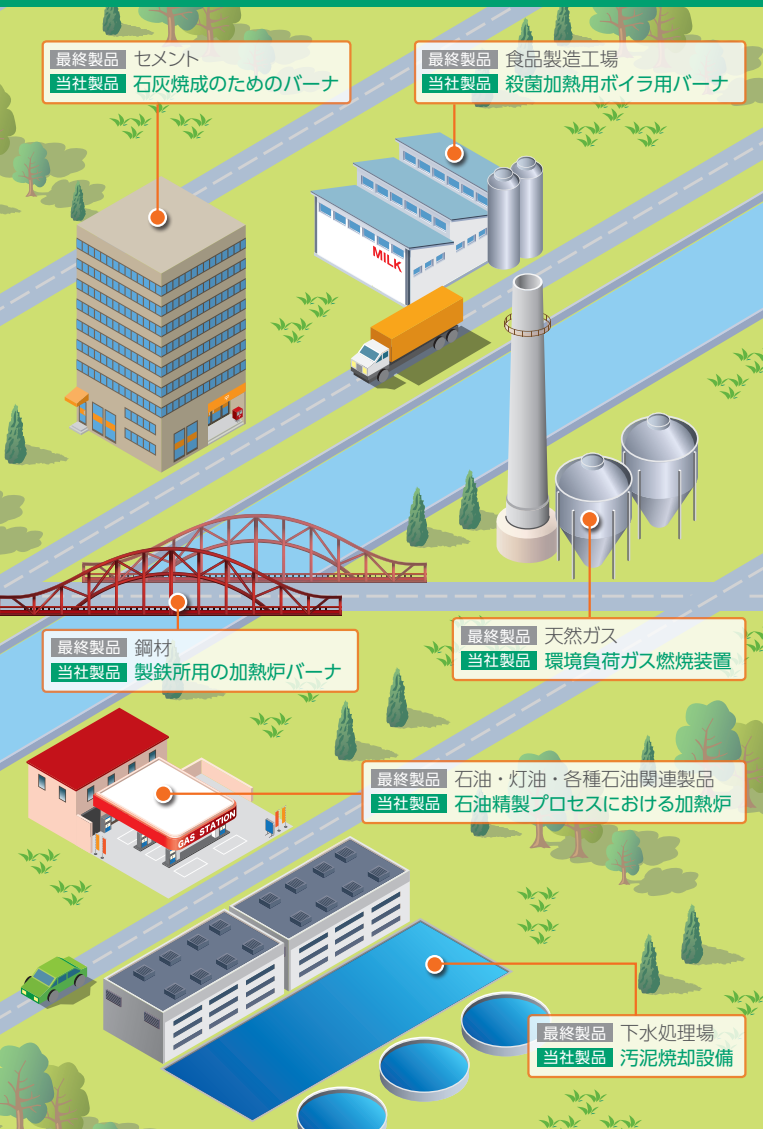
空気加熱炉



廃液 & 廃ガス燃焼装置



代表の先端をリードする技術開発に努めてまいりました。そして業重要テーマとする省エネルギーや低環境負荷に貢献する製品やうとしています。



燃焼機事業 Combustion Equipment

- 金属加熱関連
- ボイラ関連

主な販売先 大手ボイラメーカー
鉄鋼関連企業
窯業関連企業



ULN型低NOxバーナ



ガラス熱交換器



連続焼鈍設備用HRSTバーナ

工業炉事業 Industrial Furnace

- 自動車関連
- 金属加工炉関連

主な販売先 大手自動車メーカー
金属加工関連企業
熱処理関連企業



バスケットレス多段回転炉



2階建AL鋳物T6熱処理炉



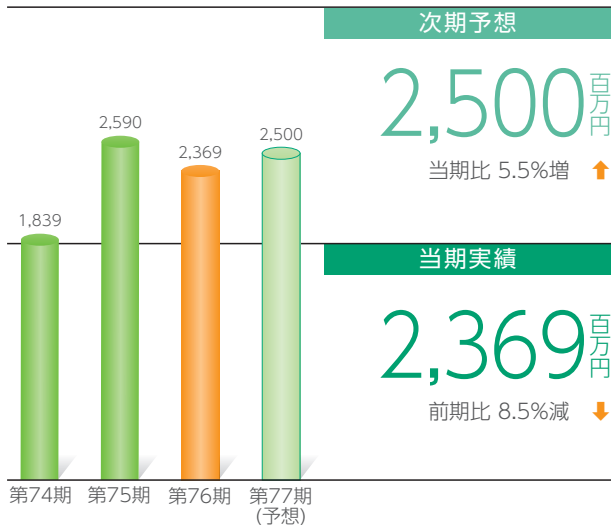
多目的合金鋼バッチ炉

決算総括 | Executive Summary

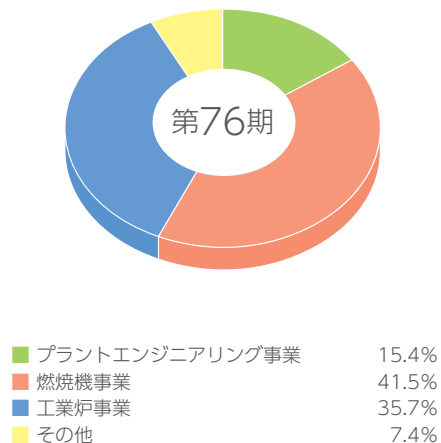
- 売上高減少も利益率は大幅改善
- 原油価格の影響等により、厳しい事業環境が継続

売上高

(単位：百万円)



事業別売上高構成比



当冊子より詳しい決算情報などは当社IRサイトをご覧ください。

<http://www.nfk-hd.co.jp/ir/> または

NFK IR

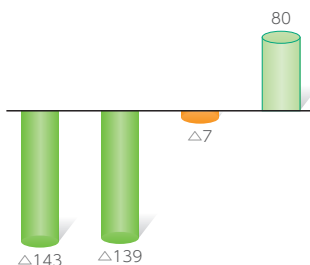
検索

営業利益

(単位：百万円)

次期予想

80^{百万円}



当期実績

△7^{百万円}

前期は139百万円の営業損失

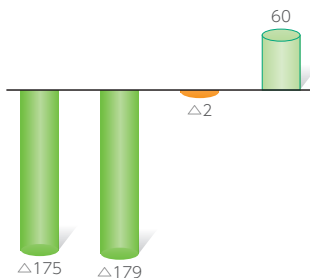
第74期 第75期 第76期 第77期 (予想)

親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

次期予想

60^{百万円}



当期実績

△2^{百万円}

前期は179百万円の親会社株主に帰属する当期純損失

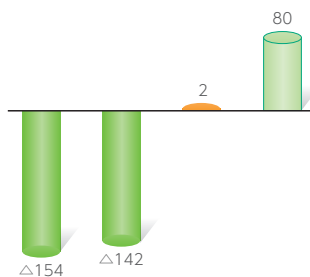
第74期 第75期 第76期 第77期 (予想)

経常利益

(単位：百万円)

次期予想

80^{百万円}



当期実績

2^{百万円}

前期は142百万円の経常損失

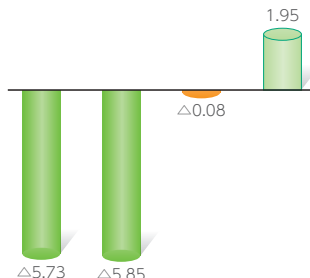
第74期 第75期 第76期 第77期 (予想)

1株当たり当期純利益

(単位：円)

次期予想

1.95^円



当期実績

△0.08^円

前期は5.85円の1株当たり当期純損失

第74期 第75期 第76期 第77期 (予想)

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第76期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の営業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長

関口 陽介



当期の経営環境と連結業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景に企業収益及び雇用・所得環境の改善が継続し、個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、引き続き景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外におきましては、全体としては緩やかな景気回復傾向を示す一方、欧米諸国やアジア諸国の政策動向に不確実性が残っており、依然として先行きについては不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは平成29年4月に2017年度から2019年度までの3か年計画である「19中期経営計画」をスタートさせ、「収益・成長性の追求」、「新事業・新製品の創出」、「グローバル展開の

加速」の3つの経営基本方針を掲げて全社を挙げて取り組んでまいりましたが、原油価格の影響などにより、石油・天然ガス関連企業向けの受注が依然として低迷しているほか、輸出関連企業におきましても、大型の設備投資案件に停滞感が漂うなど当社を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高につきましては23億6千9百万円（前年比8.5%減）となりました。利益面につきましては、一部の進行基準適用案件において原価が想定を上回る事象が発生したことなどから、営業損失7百万円（前連結会計年度は営業損失1億3千9百万円）、経常利益2百万円（前連結会計年度は経常損失1億4千2百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失2百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1億7千9百万円）となっております。

次期の見通しについて

わが国経済の先行きにつきましては、政府の経済対策並びに日銀の金融緩和策を背景に、引き続き国内景気の緩やかな回復が期待される一方で、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続くものと考えられます。

このような中、当社グループは平成29年4月にスタートさせた「19中期経営計画」に基づき、「収益・成長性の追求」、「新事業・新製品の創出」、「グローバル展開の加速」の3つの経営基本方針を掲げて全社を挙げて取り組み、年度計画の実現に向け全力で取り組

んでまいります。以上を踏まえ、次期の通期連結業績予想につきましては、売上高は25億円、営業利益は8千万円、経常利益は8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6千万円を見込んでおります。

利益還元方針と配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を充実させていくことを経営の最重要課題の一つに位置づけ、安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な財務基盤を構築すべく株主資本の充実を図りながら、収益動向とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本方針としております。

19中期経営計画

経営基本方針

- ① 収益・成長性の追求
- ② 新事業・新製品の創出
- ③ グローバル展開の加速

① 付加価値の創造

② コスト競争力の強化

③ 外部との連携強化

④ エリアニーズを捉えた提案

持続的成長を目指す

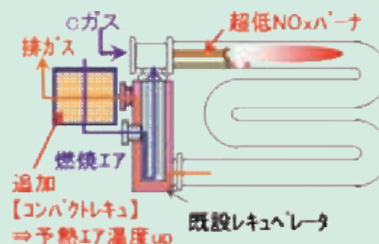
当連結会計年度の配当につきましては2百万円の親会社株主に帰属する当期純損失の計上を余儀なくされたことから、無配とさせていただきます。当社グループでは、業績の回復・収益力の向上に全社一丸となって鋭意努力いたし、安定的な黒字化を実現し、早期に復配が行えるように注力してまいります。



「自己排ガス再循環型ラジアントチューブバーナ」が 平成29年度日本機械工業連合会会長賞を受賞

当社子会社の日本ファーンズ株式会社とJFEスチール株式会社（代表取締役社長 柿木 厚司）が共同で開発した「自己排ガス再循環型ラジアントチューブバーナ」が平成29年度優秀省エネルギー機器表彰において日本機械工業連合会会長賞を受賞いたしました。

今回受賞いたしました「自己排ガス再循環型ラジアントチューブバーナ」は、連続焼鈍炉をはじめとする熱処理用ラジアントチューブバーナとなっており、チューブ内で排ガスを再循環させる新発想の画期的な燃焼方式を適用した超低NOxバーナとコンパクトレキュペレータを組み合わせることにより、世界トップレベルの低NOx性能を実現しています。既に、今回共同受賞いたしましたJFEスチール株式会社に導入いただいております。燃料削減及びCO₂排出量削減を達成しております。



日本ファーンズ株式会社並びにJFEスチール株式会社様
関係者一同

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成30年3月31日現在	前連結会計年度 平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,565	2,696
固定資産	1,206	1,000
有形固定資産	824	837
無形固定資産	5	1
投資その他の資産	377	160
資産合計	3,772	3,696
負債の部		
流動負債	685	602
固定負債	383	403
負債合計	1,069	1,006
純資産の部		
株主資本	2,237	2,239
資本金	2,131	2,131
資本剰余金	40	40
利益剰余金	65	67
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	465	451
純資産合計	2,702	2,690
負債純資産合計	3,772	3,696

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	前連結会計年度 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 51	△ 372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 94	△ 5
財務活動によるキャッシュ・フロー	6	3
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 8
現金及び現金同等物の増減額	△ 137	△ 383
現金及び現金同等物の期首残高	1,433	1,817
現金及び現金同等物の期末残高	1,295	1,433

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	前連結会計年度 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高	2,369	2,590
売上原価	1,820	2,159
売上総利益	548	431
販売費及び一般管理費	556	570
営業損失(△)	△ 7	△ 139
営業外収益	10	8
営業外費用	0	11
経常利益又は経常損失(△)	2	△ 142
特別利益	4	—
特別損失	0	0
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	6	△ 142
法人税等	8	36
当期純損失(△)	△ 2	△ 179
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 2	△ 179

■ 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	前連結会計年度 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
当期純損失(△)	△ 2	△ 179
その他の包括利益	14	9
その他有価証券評価差額金	14	9
繰延ヘッジ損益	0	0
包括利益	12	△ 169
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12	△ 169
非支配株主に係る包括利益	—	—

会社概要

社名 株式会社NFKホールディングス
 設立 昭和25年(1950年)4月12日
 資本金 21億31百万円
 従業員数 94名(連結)
 事業内容 持株会社(工業炉燃焼装置関連事業)
 事業所 神奈川県横浜市鶴見区尻手二丁目1番53号
 上場市場 東京証券取引所 JASDAQ(コード番号:6494)

連結子会社

● 日本ファーンエス株式会社

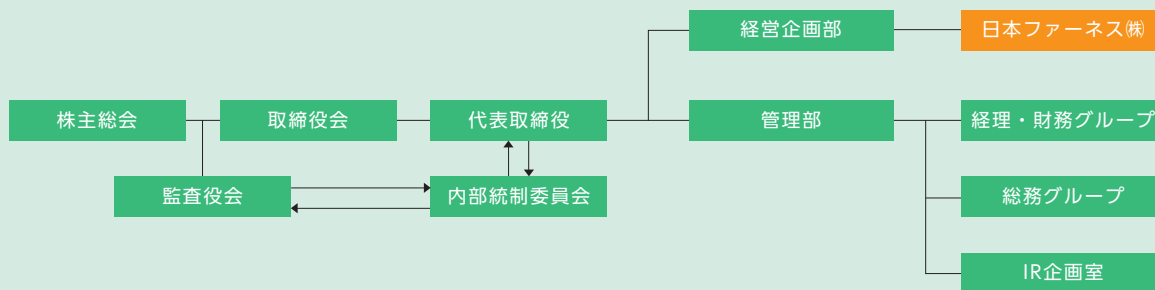
所在地	資本金	議決権比率
横浜市鶴見区	100百万円	100%

役員

役職	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	関口 陽介	日本ファーンエス株式会社 代表取締役社長
取締役	古池 政巳	
取締役	田端 雅和	株式会社エザークロップ 代表取締役社長
取締役*	宮原 英輔	オリンピア工業株式会社 代表取締役社長 九州オリンピア工業株式会社 代表取締役社長
取締役*	田中寿一郎	田中法律会計事務所代表
監査役	岡崎 稔	日本ファーンエス株式会社 監査役
監査役*	笹原 信輔	一橋総合法律事務所 パートナー弁護士
監査役*	辻 高史	あすなる監査法人 代表社員

(注) *印の役員は社外取締役及び社外監査役であります。

(株)NFKホールディングス組織図



株式の状況

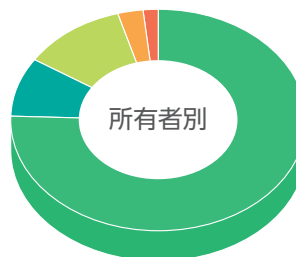
発行可能株式総数	118,610,000株
発行済株式総数	30,713,342株
株主数	9,041名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社SBI証券	1,520,700	4.95
オリンピック工業株式会社	1,060,000	3.45
日本証券金融株式会社	861,600	2.81
青木 仁人	788,600	2.57
横田 公一	574,600	1.87
日本ベール有限会社	550,000	1.79
株式会社スタッフシュウエイ	527,500	1.72
渡邊 広貴	494,500	1.61
マネックス証券株式会社	440,509	1.43
池田 清志	420,400	1.37

(注) 持株比率は自己株式(419株)を控除して計算いたしております。

所有者別・所有株数別分布状況



個人・その他	75.76%
その他国内法人	8.60%
証券会社	11.40%
金融機関	2.81%
外国人	1.43%
自己株式	0.00%

1,000単元以上	45.30%
500単元以上	7.65%
100単元以上	20.88%
50単元以上	7.54%
10単元以上	13.51%
1単元以上	5.11%
1単元未満	0.01%



IR NEWS

東証IRフェスタ2018に出展いたしました

個人投資家と上場企業との価値あるコミュニケーションの機会の場合として、東京証券取引所主催の「東証IRフェスタ2018」が開催され、当社も出展いたしました。

本イベントでは、企業ブースを出展したほか、会社説明会を実施し、多くの個人投資家の皆様にご参加いただきました。

開催日時 2018年3月16日(金)～17日(土)

開催場所 パシフィコ横浜



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
○ 定時株主総会	毎年3月31日
○ 中間配当	毎年9月30日
○ 期末剰余金配当	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話参照先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL (<http://www.nfk-hd.co.jp>)

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 株主様のご住所・お名前に関する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

NFKホールディングス HP



<http://www.nfk-hd.co.jp>

日本ファーンエス HP



<http://www.furnace.co.jp/>